へ 13
3791
1

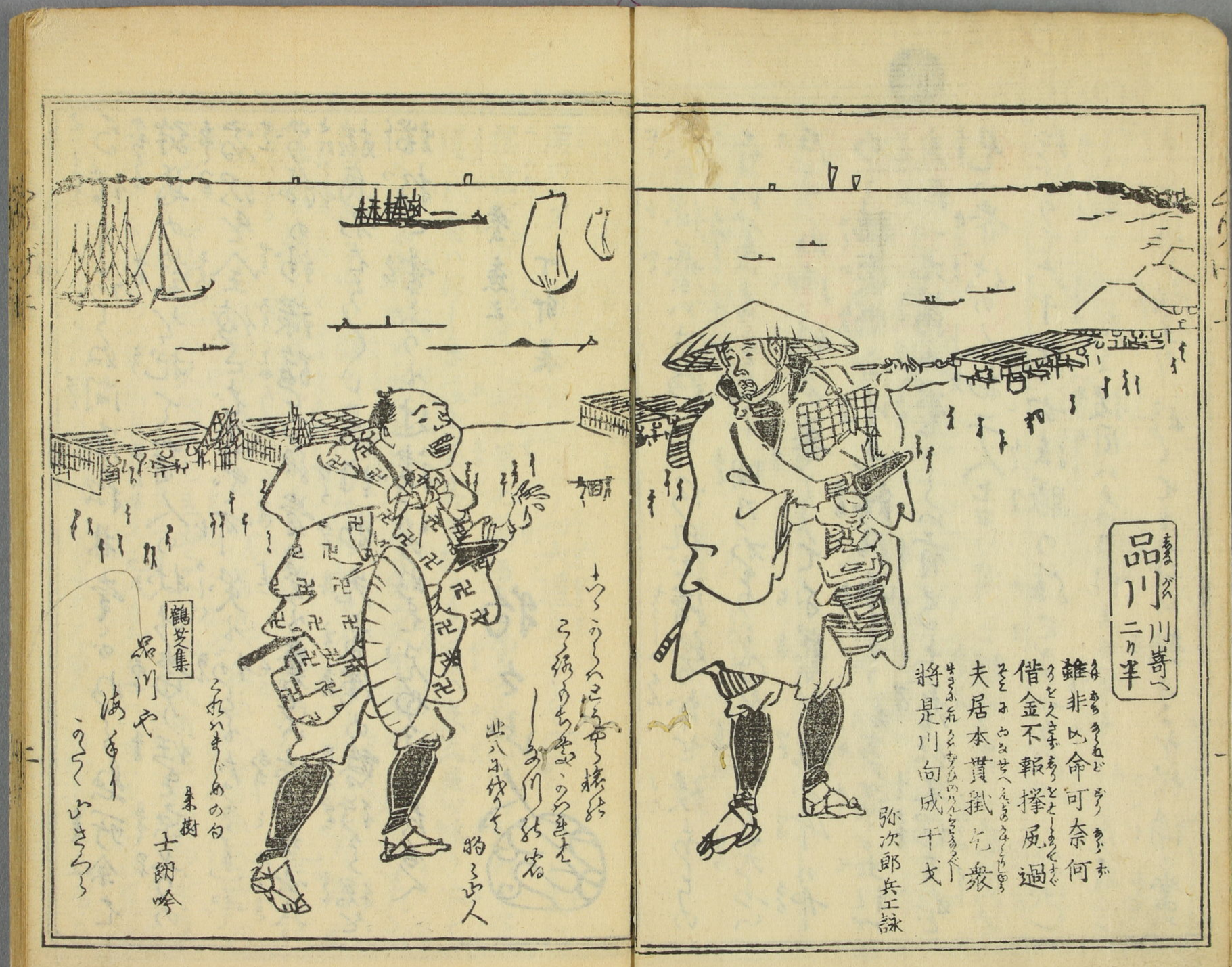
へ13
3791

狂歌山人魁齋芳年畫

増補東海道膝栗毛 全七冊

東京書林 松林堂梓

人の保養いさ為くべけれど滑稽本を読むもの
寿終葉いまくのべ頤乃かもの文を解して笑ふ
石さうぬ御代也寿りて不業也祝ふ丹の弁
わらう赫奕ぶ この生涯 鈴木中こうお多福が出れば
元祖一九翁の業々に有る土産話未保ものれど
老い寿七の人抱二人ヒヨツクリと現そうい赤笑ひ
法ぐもりて八十年古法眼の筆なるれども今ふ伝と座種
栗毛酒屋に技員いまるれども今ふ伝と座種
大津近の話まり形くてもの鉄ざるを博補の業い


品川
川崎へ二り半
雖非凶命可奈何
借金不報搖風過
夫居本貫鐵乞衆
將是川向成干戈
弥次郎兵工詠
鶴芝集
品川や
海もり
士朗吟

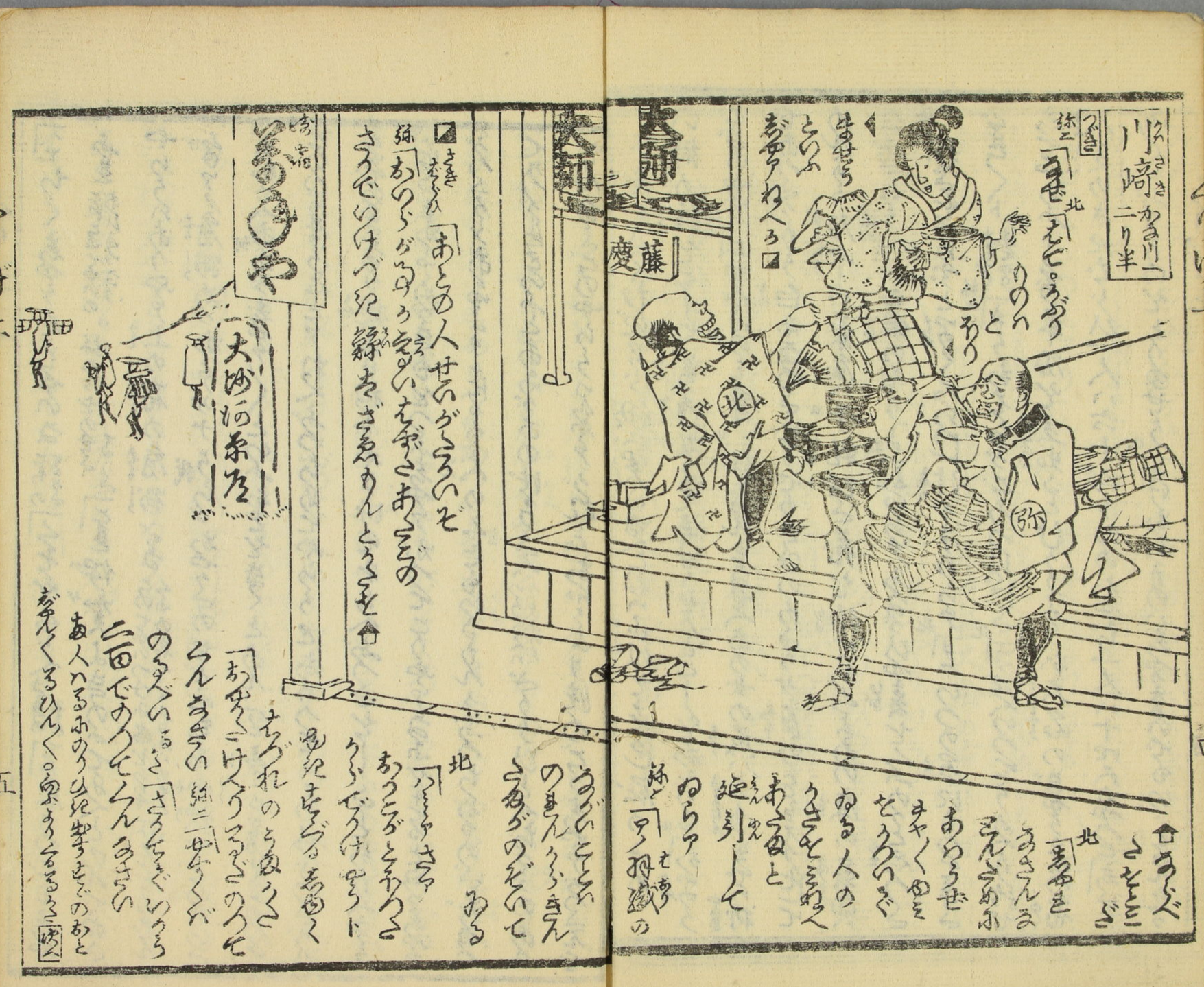
を借りてのゝ問屋松林堂にぬくゝ如一所余た
踊場の花を把て盲人の杖に付帯り任を京上りの
宿沢を金儲さだろうぞ可笑ル仏のもたのもの
茶屋の新嫁踊こる紙屋岩八紙屋弥兵衛山八
越烏かたうくとも新先言葉の酒行ゝ紙を
猫打て書ぶりも迷惑一のうぬもこれ四つ〜たる人

巻之三

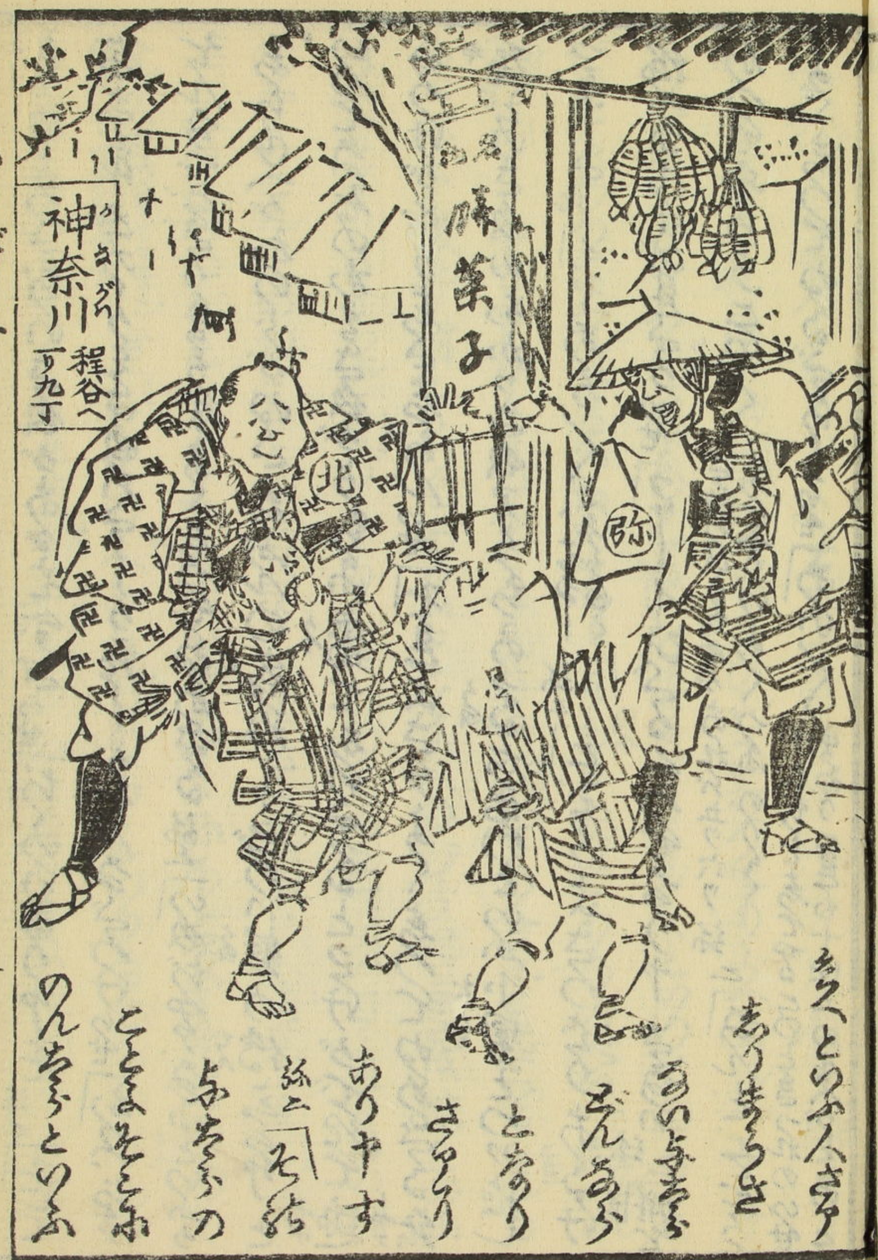
丁卯集

漢のナアく唐人の寝語り曰大道直くして髪の如しと実に
指蓋を切く往来の綾糸曙毛筋ども四方の御代の見めしに
繰武者ハ仕〜き張ル英名を初ら見弓ハ矢大臣が極り木を
刀も頭ル架沖の漢茶に出きる天下泰平の国り出る出
いざやかるゝ国この名所稽古も見めぐり月代ある雪代
の御恩地を茶摘沢乃茶のこと思ひ紙へんのもと出くげ
二人の女ども山路の尾の長こび寄ル人ハ猫のこうり搭脚行
金をこのゝ花の大江戸と立出る林田口八町堀辺に猫ぢの
紙沢茶屋といふ紙屋者食茶の北八ゝ木ゝ杉本ゝ杉ぶ紙屋
かゝくたしまるもの花の宝ものもの花ぐりのむきと赤ぐり

つねはものうらを吹あるる神風や伊勢系図より系大坂もいんと
とゝ為ばしてゆくりとふとゝもとゝもゝ宮の滝の町ふ来るゝ宮の滝へ着て
ゝゝもれゝゝるゝのだろう』とゝ柳点ゆゝ作られどゝゝくゝゝるふ一ツ
ゝゝ作ゝ宮のゝゝゝゝく舟上のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
屋へさゝけゝゝゝゝゝゝのゝ店ゝゝふゝゝゝゝ世大屋の古備ゝ御ゝゝれど
ゝゝ屋と来やゝ知しゝけふゝゝゝれゝきゝやゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ


川崎二り半
つぐき
弥二「こりゃ北「もし。えぶり
りのへ
とろり
北「まあ
まあ
さんざめふ
あらうせ
キャくを
をろのぎ
ある人の
ふきをこれ
あ百と
えん引して
ぬらア
弥「ア扇子の
藤慶
大師
北
弥
つぐ
さきとこ
ぐ
北「あこの人せのぐろいそ
弥「あのぐらゆうをいそぎあるこの
さうでいけづに縁をざるりんとうこを
北「ア
あうこがとわうさ
うふでうけうつト
見たこるあ百く
たうれのうあうこ
「あうこけううるこのうそ
んあうこい 絵二「ぜうくび
のるびいるこ「さうたうぐいうう
二百でのうそんあこい
あ人いるふのうに見せうこのあと
ぎんくるひんく。ぶうるるこ
ぎんくるひんく。ぶうるるこ
大ゆ江の茶屋
ぎうきゆや

「へ」ちく者らめ者の者の「こそをらう人者の者」「り」ゑろでも者や
ふ是ゑれあてゑの。ゑ[illegible]を[illegible]「こ」是伊賀よ者のてゑ人とのんでゑさ
やらうゑあり[illegible]上の者の[illegible]物ゑる ゑ[illegible]ゑの名をよぶ。ゑ八の者こ「せ」んどのぞん
ゑ[illegible]アノ[illegible]物めがかアがナ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ

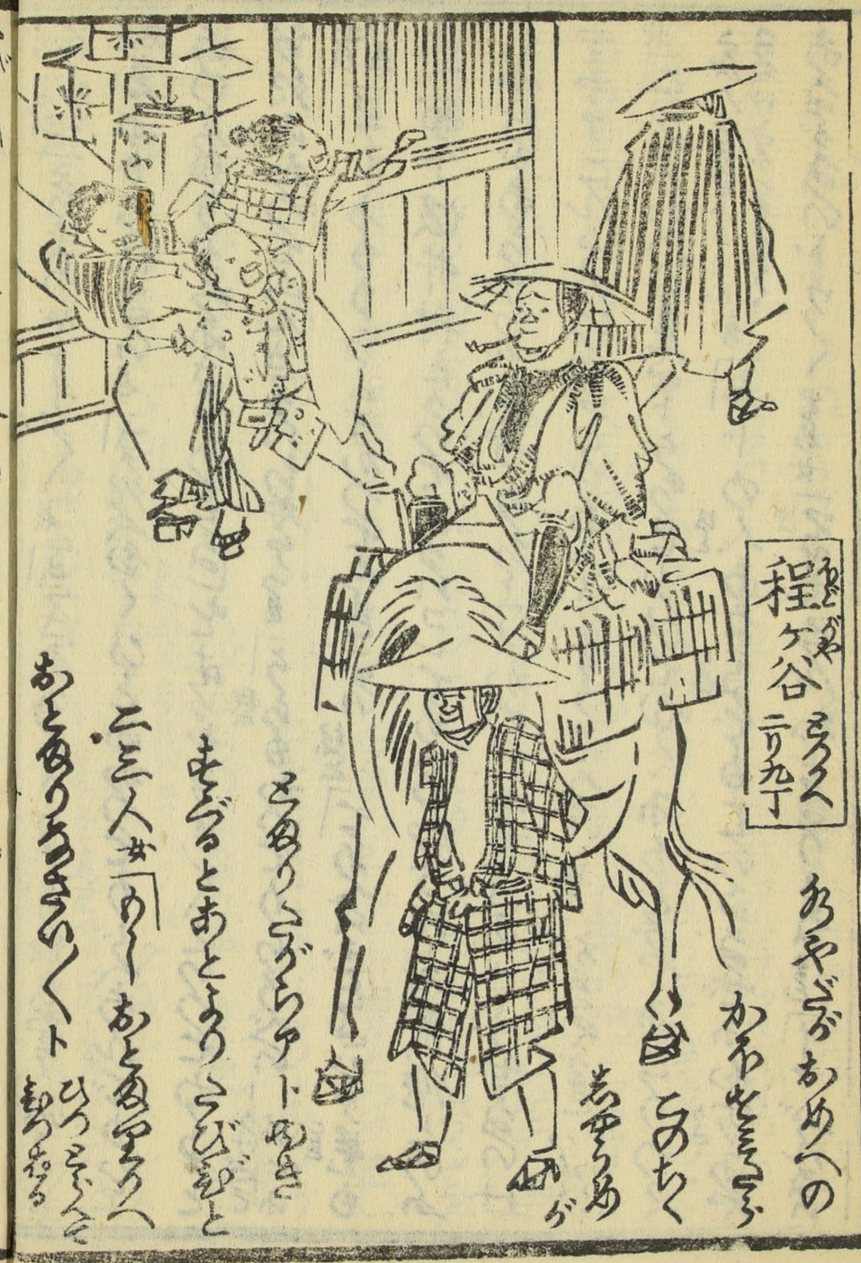


ごぜ「こゝはいあまのちどりさまぢで
まつかぜきつあおとあくあとくとちゃくかものいづる
ごぜ「うまーこ 絵ニ「あめくのやつこ 縄 あぢつ あぢづらう 味 むすめふくん とろろひあづく
あのそのところを向て 女 「あのすこすこいまいしあくぶひろうございまアす
しのびまづぶやく
北「ひろうのもずごあ 対 かづさまでつうくあらア 絵ニ「ゑのさろゑいちと
よこてーとゆるゆくゝちくゝと
ごぎろくとゝゆるめめとのお者い 扱 いむすあぶやれ・つまろくろ
ちのくゝを ちらりを 芝 ゝとゝのふ村あくろをゆくふ十ニとのらせまゆりあとふ
あつさゝのふありて「ごんあさあきを交 ゝ 絵ニ「ちめくどごぢ「ゑし
らア奥 物 ぢ 北「あろ ゝ ゝ ゝ ぢ ゝ 奥 「ろさふかいてありまろを
絵ニ「奥物 伝 ま 郡 情 山村長松ムてまこ ゆ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
のそろふゆさめんごあひぶゝゝくゝごのいろーやでゆろのせ「ふ ゝ ゝ

ゝゝとゝふ人さア
ありまろさ
ろいとまゝ
ぞんあろ
とあり
さろり
あり十す
絵ニ「そ結
ふまゝふか
とゝゝふをゝふ
のんまゝとゝふ

とし
年のようこどいさあがあるもずざ也「ぢくいあり中也」絵ニ「也」て
あ志年ぞのくろさ多いこーろたーろをんなごろけ也「あろ左ア
をんなごこどぞろまろずよくまろてあめさる絵ニ「いめぢアなふといふろ
まらはへぐあいろがぬこぎぶんの名ぬーごのい越の伝ころ年と
いろてをそのかこさあぐうちふ畜てあいこるとっけぐでをて通
ろうけぐごうまこまらん也「そ是こよさアよくまろてあめさる絵
屋どのさあのあかッさあアろちのるあ男といふ小男とつッ也し
ア中こ北「イヤめうく」トまこーぐふぬく絵ニ「こごろうよさろまりあるみけ
ぬくるくびまころ也「コーイひぐるろてありや さろのい絵ニ「解を
かろてやらうといく」さろのいびもちやぐちわぐ五ツ六ツ絵ニ「あんとてころ
ろてあいふのろく
よくまろてあるぐろうを也「あいく」トあちをあてるこのときこれのい也
生まろ是も十四五の生ぐをあと

うふうびかりまる「長まろつやアイく」長「まこまこのいく」是「ろ長あ老ア解よまこ
あ是こふもこれさい長「さこ紀ふあくひとふかろてりくあんでもいア
あのまあちぐこふさアのこ是をまるをヲイくとろてあること
ぢ紀ふかろてんさるいちやアを是「うらもかろてりうらうべい」トうみびて絵ニふ
あいき「コーーふもりちよオかろてを是さの絵ニ「てあくいぐごろる是也
要物下坂井村とろうてあるいコレてあくのむりに与義他といふ
あふぐぐあらうつれ「まづりちよオかろて是さいさろ世るのいけ
まあやアとんこのいふてぐあくろまうさろい絵ニ「あまやぐ是」ふふ
北「このいかろぐ是てトうちこらひて也くふりどやふこりつく
こび人をあせこるまぐ赤
まあけくるこまふくく「あ」ドの人ある子るるでも生いるるぞふあ方ふ要
あるるぐろいドウくこあ女「る士ぐ」長「イヤぐんるい



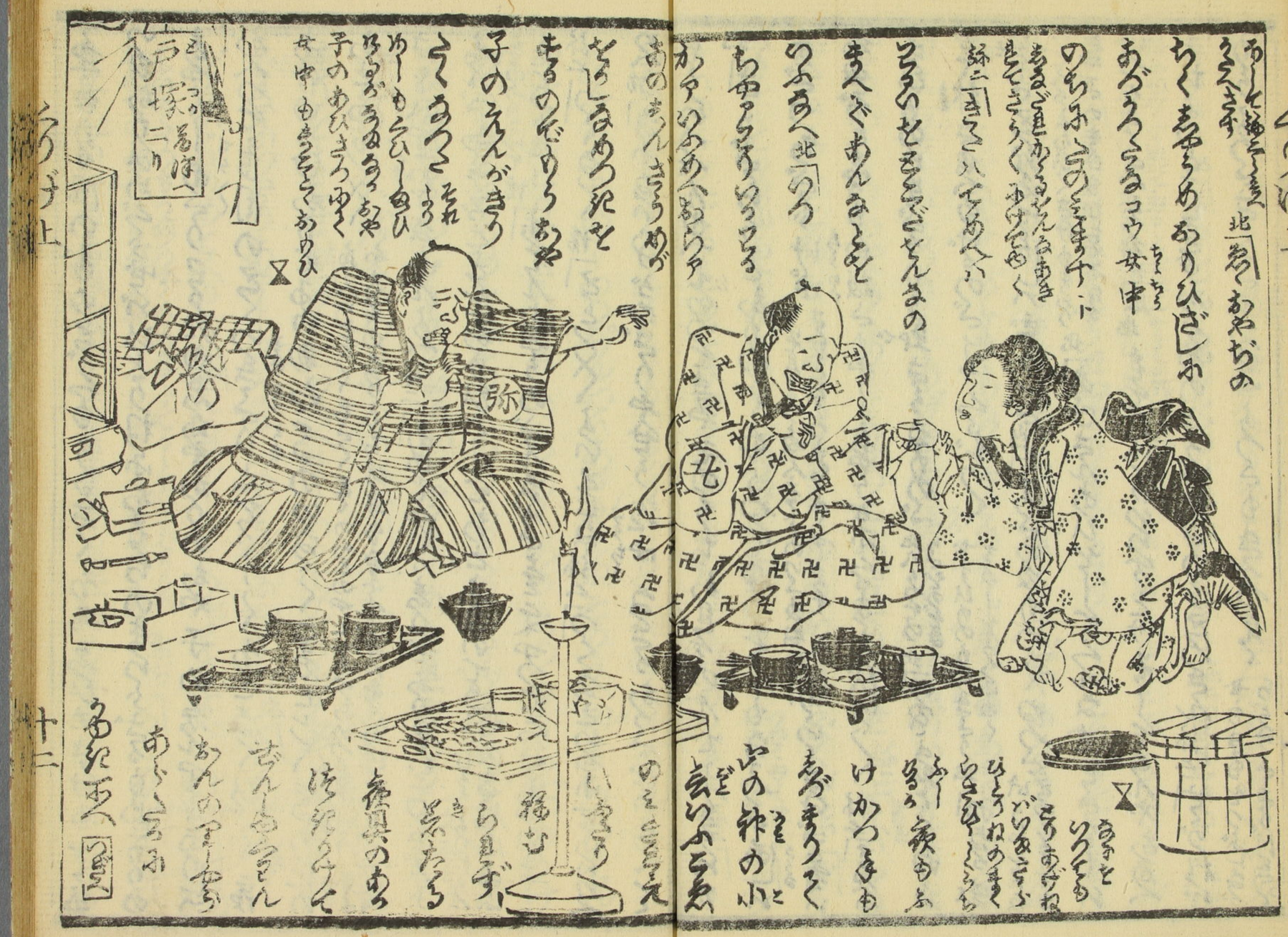
あやぐあめへの
かやせんぐ
このちく
ぎやうあ
が
こゝあり こぶらアトかき
もぐるとあとゝろ こびぐと
二三人女「りゝ あとゝあ ゝろ
あとゝあり ゝろ ゝいく ト

旅人「まづりげらア女「ゝゝりけて もゝ ゝいまし 旅人「おゝアゝいまづ
女「おまんまのあづぶまこゝいちうがあとあやアおぶくられれ
旅人「ゝゝくらめまし ゝいちゝさゝねゝう トやゝくふりきりてゝくあと女「ゝおゝり
ゝゝあし おゝ「ゝちゝこゝゝゝゝアゝゝゝゝりまゝすべい女「ゝ百つゝそ
ごゝいまゝす おゝ「イやくゝゝゝゝゝゝ
あゝくゝゝくゝてもゝくゝゝる平ハついゝゝゝくゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
いめしとけいゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

べい。絲二「ふハうのてハそうそそろしくおめひ
かこありハあいおどやとこあ女戸つまくてハちゆさけりろ
むさーさろめ さろひ木斜腔坂とトるろろこのひい戸つろふ二ゐとさご
め絲二「こまこ北やまろ世へそはしがあるるんでもろ弁い坂りそ
ちこめくこうるせくろここふひころのちろりごとがあるおりふいあや
おこりあーやア二十だいぐろふ あやといつてもいくこふいねごれ
かふいやどやでいおやあのぶイふあゆろ表ゆアねくろ北「こまこいぬご
そんあふあろさんとふのろ絲二「さろふよ北「さろいつてまこふ
たがでもめくこふこのむすこそどゝぬくめくせ絲二「だろアのくゆや
めうア戸つごさやふ表ゆろ北「ろつさんや絲二「ろんご北「ふめ
表くおやアねつくふひつだこふねく絲二「さろふよ。ろろつこふく

あいだごのこまやう
ろく表のあとありだべさトゆ面ふごがゆーしてある北「こまあひさん
とあてこふまる表ハあーしろ「こんだんハおこありでゆあひやとる
ありませ夜絲「ろむさんさろうごふらう ごこをこきいてもこまろ
うまびろまきふまごろき
こあいごるハやどをせんきとあくふまころ大きんむのあやある戸源ふ
そまこまり表ゆくの出こづまふそまびろるたてこやゆろもあこびい
ざあさく一面をとくびさろもくあるゆうちとろつきふろとつこぐち
そころ紀ろうると女ここひろとる絲二ハあーしを十四こ「北八ゆまごきゆ
あきゆまこ北「ろんごきゆそんそいすげろトかりをこきとゆふゆるん つふゆそんごふあふゆそゆるん こまこ
ころりると下女「ゆこぐふお湯ふああーるきろいやせトゆふ絲二「ろのゆ女の
つこふいきんろこぐへこんこぐゆぜんころこりとふりんご北「こゆお絲二
さん絲二「そこまこ女ごきこふ北「ゆろとおころつさんゆへ表つふ稲へか

女さうぐきと 絵二「ヤヤ 酒うけやめのとゝるとゞこでもこまごこのゝう
うゑさこゝ 北「さけを出あやアべろゆせゆをとるゝ 絵二「あまこゝゝゝゝとれより
絵二ゆをとすゆ」で出ると女せんせとまこび 絵二「ゆ」でいゝゝゆさんこまごゝめいゝゝくざ
でいゝゝゆさけさうるゆちゆをでゝあゝさうず
でゝゝ 「ゝの絵。こゝをゆゝゝうでどぞゝりまゝうゝくしゝゝとれまでゝあゝち
ぞのそゝゝゝゝでそゝりまゝゝゝゝうぶゝとのゝゝびゝちゝごやゆゝりまゝゝゝん
とんゝゝちゝうゝゝゝせゝびゝゝきゝあゝゝゝうゝゝぐゝゝのゝゝあゝきゝゆゝくゝさゝま
ゆゝゝゝゝ


北「ちくあやぢのありひざ」ふ
あづろくるコウ女中
北「ろ
弥
戸塚名所二り

子をあるる風のまめこでもうるさくわろうあひのさけもまぬ
いるあるひめぐらせばひとうれふあるとちのまりくざるもはしりの
きゆくしあうろうろ死ぬあゆやかりのおや子の兵ん子ふあひに
かくつて言用のさくつきてうりとそくしくわとそくひぐく花
あけのうひあるそあい助なるるのいうくこうにくくるの花の
あとぶうくく 人いきとくちうくきのこのとをちめづと「そうとは
おんなのあがかちひきもきすゆんそくのうと
さうハ「ゆいあんよく 絵二「あのそやのがうとうまいもとうとう
あんごかくがこをあひひごしちとふきいできこひうちえ
ものきあをとうた 絵二「ちちんおうのごんながこうとうすぶ
「つくるく 場「とくくよのいとうた 絵二「つくるとうふきられく
ひく 場「あふあいゆがごうやせうたゆうたるあくこひうくと
だんごでもあ〜いうぷんでいあるうまあそのうく田まちのとん
ごんこんとうやきうてやのあらうこひもあうちうふどのうけ
がもうくてんあうあ風ちのうらうあくくうふゆのどひふあう
うひるきうぶあうくうう 絵二「あくやまーれそまやらうう 一又あうとう
物「とうや大鯨とんありがうい 絵二「ヤ巳文ぜんううのむさんとのん
ぜうをとこを世 物「つくく「いふく〜まーい。そのうちちを義深の接
ぎうふいうあやーげうちやとを世ふやすむ北「ふうアきんぐん
だんごいつあて人のぞ「ゆうるるのう〜そ生んぜ生すべいトけーずめ
きのうろもうあうずあうぎうそるとうあうぎうとせうくるぎうとせきうあう
あやちのあうーきづくせうくるぎうとせきうあう
ますべいはのあるくいぎういきます 絵二「ひの者あるくそんうう

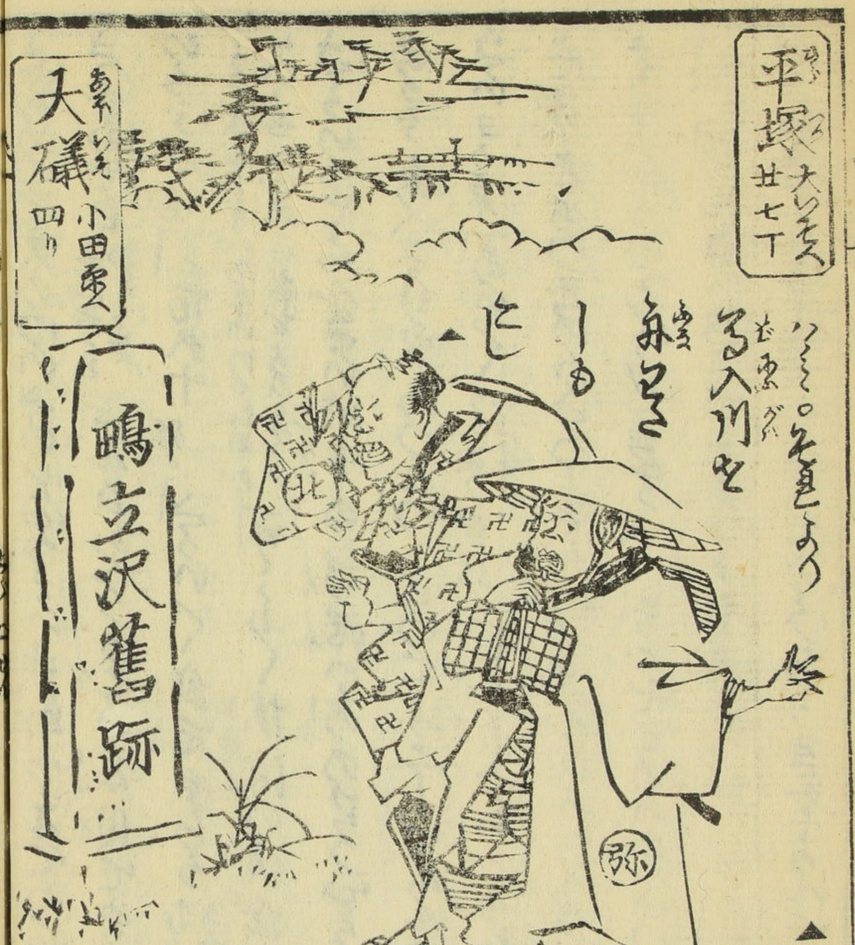
とろ〳〵ぢぐ〳〵ぢぐ〳〵ぢぐ

こゝは高い家が〳〵ずらつけがさらに「さあらん」北「あれらの大後丁
ふあるそんをりつとゆるさうぐ」絵二「大あく丁さいどこぐ」北「南雄
丁のそろり丁さ」あぐ「そんなことをとうりの高あくゆくらをを
そーくらんさの」絵二「ゆくさうぐろけそのぢざうさあるうう大うく
丁」北「ひの高くのうふもそんな町ぐどざろうさ」絵二「ホイこりやアひア
の町ぐろけ」絵三「ろくこの高やうりふちもあいまあうぐさるくらうこと
きてきちすぐいトぶうくふどをいふうぐいるすぎるト」絵二「こりうふうろうい
ぶんどぎトのひるぐうひとろーこりあげこと」北「ぶけーぢこの大ぐえん
どふふうつのてるゆ高ちろとうふぐべーとかく」北「ハグちうくさー
いぐ世ぐ北「ろきくトふ」絵二「あくあうくぐんとふ大ぐうふ世のと
あるんぐろんぐめふあふせろ」絵二「ふくてあくあうくろのぐあうらう

とあるうて大のうふの世ちうふ北「あうちろそあれくぺーく」絵二「ちう
さんあせと」北「ぐんなかうぐこ安国で来あうきちう」絵二「ろぐぐ
いうろうぐこ」「三百文十」絵二「ろのく武百ちうろ」北「ろくくすく
ろう」絵二「ろうふのるちゃの」北「ちくくすくすさそろのれぐぐきさく
ちうのうそうんさの世中の新潟いあのの佐渡やくちくの川くう
ぐうろあくさけちうとうくうろこーそうんさのとうつそん
さのョうろう」絵二「あのくうこちうぎ」絵二「きちあうふちうさうろひゃの
たう弟たまつぐのうくーやうろ」絵二「ぐんろうもうろうろずねぶんと
きうんトちうであうう是百ち」絵二「ちうぐ七ぐのうきぐうとあそなるうの
きうん」北「ぐんなうんもあうるうのぐきあうくとね
やあるきたぐぐかぐのうくぐぐうちうきそうんでねさうあるう

平塚 大いちえ 廿七丁

大磯 あれいそ 小田原 四り



鳴立沢舊跡

▲平塚の宿

北「弥二さん

とのぢい

いろこゆ

きんぢる

をひいてゆく

おごめの「花ち

ぢーよ「あらう

ち沖ぢ」ごと

おりつ「こりゃそもむりー荒波が十あり申あんろ

むごくきむい長あけごそあ沖を

つけてそのぐ生のこ話「そのこ北のろ

立ぎぐ大きふ雷七彩れさあろ

ソレいたろる蘇屋所とぢろごのふ

ぢいわくろ話「ぢろごく。かくそ大磯の町も北ぢ鳴立沢

文覚上人ろ能仮とぢこえ一箱の像を海

ひ見ろくもあろぢとろくこよ

○表人い北里の長丁場ふこいろ

く酒白川ゆろるあ沖くしそ

ぢろあーく

[illegible]くもあるう川越又二人酒肴の門ゆめとろろう

小田いらの者ども「あるうどうあとあるうでどうまちろ」「おいらう」

[illegible]「小清水ろう関川屋ゴ宮おごぞ」「こんぞんいあ家とあ酒でどうろ」

「うろうどうどうろろ」「うろ」「関いきいろ」「[illegible]」「[illegible]」

「関」「きいいぞ」「ある」「八十」「[illegible]」「八幡」「[illegible]」

「[illegible]」「[illegible]」「三人どうろ」「[illegible]」「[illegible]」「[illegible]」

「どうろ」「[illegible]」「[illegible]」「[illegible]」「[illegible]」「[illegible]」

「どうろ」「[illegible]」「[illegible]」「[illegible]」「[illegible]」「[illegible]」

「どうろ」「[illegible]」「[illegible]」「[illegible]」「[illegible]」「[illegible]」

「[illegible]

たゞことのなすにはあらねば　ねへさん湯が
ゑんりちきてる　北「そりやこそ人のことといふあめくが文盲湯
がつらいてゝあつうてもつらまるめのうあが湯ふうこいてゝ
といひさせ　北「もそくかしこまりまして　女中「あ湯ぶくろしう
ぶこいきて　北「オイそれはいやアあがつらいてゝうちやもうト　女中「こゝの
ちいあうこゝぶこまのこゝとまるふうぶけいうこゝぶふくあるたちうつぶうとふふうる
ふかやとまりふつるもこゝるどをつきをけのもこいうすきらこゝぶのあべこゝをけと
うあゝのきいをあうこいはうこあうこあうこうやこうふまれすくうこゝをふく　あつく
ありうこゝ　北「のようふうこうりべつふふてこいふめるくそこのこうくあうこのこりて
もこのこりとまるもふらるふいをこいこをこあづがあるこもこものあここある。北「こう
ゑこいこのふうるのうこてをあうこれべうこいこゝこをふゝこゝこうえこうのけてすうこうこ西
ふんこむこすぐあやけこうぶ　北「あゝこゝこうんぶこうるうこゝ　女中「ゴトいうくうんうんこゝこゝこるる
ゆふあるうるこいきもうぶ　北「あゝこゝこうんぶこうるうこゝ　女中「ゴトいうくうんうんこゝこゝこるる
あゝこいあゝぶこゝこゝふこゝこれべかうこうあこゝかふゆゝぶあるゆこゝこうつふゆもこうこい　北「ふゆふるこゝ
とゝぶこゝこゝこいてゆゝこいうつあうこうつてゆうこゝこゝきこゝこゝはまちうみのこゝきふきこゝる
ぶのつゆちうちうどゆト　上うを　北「あきれこうんぶこうくかどんふゆあうねべこの

こゝこゝちうのうこ　北「あれぶるこゝこいちうこゝこゝこゝこれ　北「うゆぶふ　北「ゆうゆこうこ
こうこうこらん　北「いうこうんふふこゆゝこうんふふこゆゝこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ　北「こうこうこうこうこ
らゆゝこう　北「こうこ　北「あゝこうこうこうこ
さんちうこ　北「あゝこうこうこうこ
ちこうこ　北「あゝこうこうこうこ
まうこ　北「あゝこうこうこうこ
こ

あつねくとことこと　ところかさとき　おかてこだ　ことこと　ろけ　ふくく　とろきつ　きそこれも　けさと

きのこと　北「絲沢さん　絲「まさこのぶつ　北「うるわとあめくのいかとろり入きこ

ちろるとあつるねくあ、

いこころのちこ

つきこ

小田原　ちろるへ　四り八丁

ゆうこんあこやをがうのんのアデン　注と本あこうをとるゆげこうあるゆげこうあるころ
けこうとをビくおのかきこ八さこうこうゆ屋ゴ
あつくこうこうゆこうこうゆこうこうこうこくくしとあるりこうこうこくくとあるもちビ北「こうけこうけこくく
つひかうあのそこをあこあ紀きこうゆちつのこうこうこうこうこのきこう
こあるきこれこ　○やこのこいもこうこうちこうより北「ごこうあこうきこうこうゆ
きこうこうこくくこうこうこうこう

ゆいちとうけゆくうらうちくるぬめとそそぐ是及八〻く北八ゑのぶ弁「めうれて考察
きさうさのものごがいろまでをきこと長れがあるきゆあんど銭いどとおーやうふるをとてくと世界きてる
めくさろ紀とくきこどくさちうみちうとこうめんごいのがあるうくこうぜ
ようこーとこんねく方言「あの考めごでどぎいきすうくめうやどくくう性」こ銭「考くそんゆうちんゆうぶくは」く共通「お体
あきうきまートめうくく北「ハ〻く〻く大工銭「べくぶぎうめうゆがせどい北「こい
いいく〻〻とまでちぎりゆ〻くあんどーくれゑうろ銭「かくくとゆ去
やアぐまあうとるるる銭とゑい北八が「武石とゆ〻やう〻めいやせどすくこ
ちんとゆめーうす
ろりとつつるゑが北八をとし
ど
どゆきちのみちのうふきめをいんとこそやかとうゆうは世せうう通し
どゆきちとゆきぶぶ性りのとこで銭以さんをうんごゑぶごよくどきこと

こうくきるうちのうゆ
のゆかさゆるるゆうこ
とこのいくをこうち出
ゆ水ゆりして湯ずゆすぎ畑
うちゆ日吳月よき姫庶先ゆ出て
あけさんそこのそこをこをせるせく
とまであんざうきすうろ銭「せうく
らのをこをきるぎろア「こまであんざうきすうろ銭「せうあけさんそうち
のをふゆうこをるのいうんざ姫「あうこをいまでこいうんざう男性銭「こまこ
とれこのゆうくいうこうざ姫「こ百でいんざうそんす銭「百ふこうゆ姫「かう
けれいゆやせ銭ト銭このうれを考うこと銭「そんまう武百よ姫「ゆううこと
るゆーうきうこうざきうのや「ヨゆくくトこうれをぎうこまこ
姫「ゆうそうこでぎうゆんすうまくく銭「かんどうざ百く
いうんちうのうこ

北八 ちょい
ろろ北「ろろ」
三日のあと
ぜひおろく
いあとでしの
絵「手くさろう」
ごろみ
ごとも
でも

北「ヨイ」一番ろんなトちゃらぎふにとみ
あちらあぶみとろ
でまのうら生とぶ漢れだちわく
ゆくちのとろぎにに大つま
とろぎれつまとを絵ちろく
「ヨやく」
こ女ごめろく。絵ひさんろねくとろぶ白んを
ぶ赤ろくとろるといろぶろんとろうの
絵「そりゆちぶ白」ち北「ち」く
ゆろとろのあろいのをどとろとろ
ちぶれふ女ゆろちきこ八のろれとのぶを
ぶろぶ人ろの女どるぶあのいめろれとこちら
北「ろんと」
北「ろんと」
ちろ
ちろ
ちろ

ごぞうごもうろ男いちごづくりのご絵「ちいろくさまでごそのいけのどひふ
いひもがさごうこなるうア北「ヤアくくとうあアあ拍ぢ四アれくうちちゃん
どこ絵「そのくゆうごゆ〈変るとたこうとくくく

きやいまー北「ハハハハハハ」絵「イヤあめへあいふををうまもくぶうすの
北「あいしーうくーうんと今後ろうちふーとのうまふまふうのいどうぐ
千「あうこぐうませうう。かくて一の己をまぐるふいぐうあうのすとめ二
めちあるきあれば北「コレ」絵「ひさんあのまうあうんを見てだイふ者でせう
わるをえつけて
かーいぐうこ絵「ひうちうふ小僧やそのすうあうんをうくわーこんぐーも
あくまうふうちうまべいそんぐの鶏よすくまきうろ北「ぐいうとものくりりや
大きな鶏こぐを四文せんで買ひたいうあのてまいりやくそのあもくまふちうぐ
こうこ三羽の者ふつく絵「ひうまうまうのるせく絵「ひうまうまうこうこ
こうこうあるべい女「まんまうぐザアあとあり絵「べうこうこうト
絵「あいこくくくまうこうぐまあぐべうぐだうめあんまんいれまうまう
ちうういうませあう同のまうるせうちうへふうこぐぐの三人いやんやこうこ
うまうぐこきへあうた

絵「お湯おおおこうのさの区」絵「あさ絵へまおらうトうけ女「あーーこうこへ
うまう洗場でこぐうまうます絵「ひのこまのうまへトあめあく。さぐ十「ひ絵おかの
うううづこひ北「ここのうるおあれやーーこ後の森湯ふこーらくくうう
ひかみうう絵「ようあるうあくこうのあくこうのうのうるおきうる「ひあんけさうませハア
おまま人ハあふうう。あうくうぐこあくあハ北「ひ」絵「泉湯場名ハまはあ
銀男とうひまうまふ絵「ひうあうこひ絵「ひくうこうくくの株湯ひ僧むうう子一
ま泉ここ中ますこのもうちいとこ一ま人さるこいあうこうかんまさるハ
くうるきまま区こ絵「かんまいこ十おるうやうくぐおうくうう区こ
絵「ひあるの南ま泉まさるやあうこうう絵ハさるハこうこきんまうぐ
あくこ絵「ひうくうく絵「あのスはいぐこふあうぐ丑年絵「ハアまいこうこ
ぐうこ絵「ひんうくくこんうるこんいぐうこうのこまくこ絵「ハくくあこ絵「ハやうぐ

猪とあげるせうとてのーもがひつこむと女北「それふこてまやうまちろあい
色ろの女「この男ぬ来男の廻ろうら来ろうご二人ごぞい来絲「こいつア
あ色ろろろう北「あ色くろのあんでんな女「まんなふこでいる
やうこ十「ふつふ男ぞうふ色あそ色「男いぶ〜〜〜「色」へアふ
門の女ふ来色「男ぞ色ざれ絲「あ〜やどぞぶ〜「色」へアふ
二人ふ男ぞのふけふのそひて女「まろ〜くくまろるさろく
えってあるとて女ひつそう男
でいぶるすぶいあるびれるさんるんいるひろ
出ふ男ろのふうあのさアあくみさんつんでるきろ「ろとふろう北「ろろく
ろ〜ふ男ふ中猪いうて姫ふあやう女の男ぞ〜まふす「ろ
長ふまろのんで外「ろやいろろ〜ふろ〜ふとのひまひやー北八へさすつる「色」ろアア
かるびふさす
まろアぶのふの色わんやんさそろのふあつぎるうよ「ふ外さん

あるんちのことちあろんるこるよ「さしてるるのの五大カ外「コリヤ
ろアふ男ぞもちるぶけの色ろいぶるるの今絲さんぶ腔尻の長十
さんふ男てすろうさけでぶいふぶるん色く内ろうのんふひけう
かすろふ色ふアあのあものさすうのをさるいでるらやーいろう
たそひ紀つくでからく武十色文ろうちあつこアのー「下女「ろうめさん
あるくのろーんそ世ふまろろトろりあるるる「あらアやあごるよろ「ふ
あやさアこりやれの辻のちろ外ふ来ろつさんの紙ふぶ付てある「ろ
ちあつころやアトひろころりろアふそこくまひーそつむろ人下女「ろうあんそへつ
ふまろいませ十「ろんふろろ〜ふいつ紀の男ふれわやせう絲「男アふいろ〜ふ
ふとろ人十「ふ三ろいいろくふとまろうあいろくぶ男ぶろうとまを男ろ。とまろうあぶく
長ふ世でふあけあ紀ていふのを長ろえ紙戸ふさ色く猪世遠ふ男ろ

十吉

三島

北八がむねへうけあるく。北八きまつてきえんでもうそこ[illegible]
[illegible]
[illegible]

ごごご

あるまらアサア四斗樽とこうぐせ「まとどるとうく」「ゆやさ四斗
樽とがつちんぐとめるうらいきこあるのきうひごと「とれい
むこいき。ゆとーらげ四斗樽とこうあるせう」「こあるるがあるもの
ゆうぐうらいあのさるまでとてのうちふ藤とねこと「あのい四斗
樽が」「ゆくサ四斗樽イヤくとあのちいく」北「こまく」「ふくさん
まアまづふまるせくかうくさうふどでいまのまくことおるア
ねくとうづまゆーこうくちげうりいまうぐねくあきうあるせく
「さあうくとまづうとーぐりめうちくどぎうとのあひやとうぐび
あうまるものうちもぐまうさびあゆくさんこうめ四蘇おと中
のの北「ちげくゆ」さのうふふさんいうらうてるもとーきうねくい
まとこれがふりもあるあるでもあうこうとうぐ北「まアゆ」でもうひねく「ゆ」も

こうあのうえときこ八かうぐ府中までいけべちうこアさんこんする
あるものあうぐうえ文伯しでぢうけのう「きこやあうアかうぐふで
せるのあうくうをこうおとをでうけこうこうるこうるこうる

絵「あらさくあんのいんごうとんちのめふあらのあらア」北「ア」
あらこと北「ア」とりとりのひとの世人を見ようるぞア「あやうこそるさいらねへの」
北「ア」なにいきうひご　そそそそうなぞあ
　名をときうのてそうーやとぐねの釜ちゃ潮ふ孝好きこれやあぞ
せうく　酒徳ふ孝く者さぐ見の藥屋ゆそ見をのすまる北「ア」おそそうう
あぐいます　おあくでも考るさうの女せぬう北「イ」やあとの立場ぐうん
とふうどうてきやーこそふもをひとうの見てる大こぐのあふぐまう
あうらもそうるのうとれとをいのんぐなるをそそあうのいのとをくぐ
ひさまもふとまうきうふまうもの　あうの坂とうの人本見ぐふ松ひぐうのうこ
ふそあるる北八
　松うーこれいんを見ぐ体あやあうの坂いぐこそとやせんちんの松
きまうひとふ　絵「ア」やうぐけうくあこうあいこ戸めぐ絵「ア」あうぐぐぐう

きまうのうくーぐりいさくぐんのこうりぐどのちのふとつう
見邑てあうれふあんきをいうーきます「そそ見ふきのとくそのう
ごのあちのさーこのいうこむうめこうる北「イ」やとのちのとの
きうすんだうちうのぐうぐうのことぐぐうきます「ぐうぐう
ふふうんぐや北「ハイ」ぐうぐうとふうぐくのことぐぐうき「ア」
あゆう人のものをとうこあうこうぐくのことをぐうぐうとあうすう
絵「さあうでぐぐうきます「そのみぐうぐうとどのちのとうの
ぢやさ。あうりど解せうく北「そそ」ふぐんあくちとあねぐひうどぐう
こぐのぐうぐうふうのこうぐこうふまーこうーやうぐ
どぐうきません府中きまでまねきまぐいうあうとあいうーきまうぐこきま
きまでのここうふこあうきぐうこうぐのさ食をこうぐ

ひ「そもちろうでものをうりとむるいうぐ」いうぐ
きんちゃくそぐーてとまる
あそこもちのそんぎとあれべのとそ
ちゃ北「へイこ百めんぐらゐのふさーまげませろ」そもこのかろ
ちゃくぢや北「ちとーいあまけませろ」ませろ「まろくべ。ろうと
六十めんつくいそう北「そもこいあん生ろ」六十きこのつろ
いそう北「めろちろとどどぐろまます」まろくべ六十弐文つくい
そう北「めろまそーぐろぐそ」ひ「さあくべきこのそぐちろぶこいども
そろまんぐとあのつて六十四文のつくいそう北「そんまあ一文ぐあつひ
ぐぐそろくいとさろぐんげてそのあせ」ぬろ「ぬろ」ぬ
ゆさろまそ」ひ「ちゃろどろい北「百のことぐどぐろます」ひ「そ百
文のうのとちゃろぐどまろすろ」まろくべちゃろどゆめとあそろくい

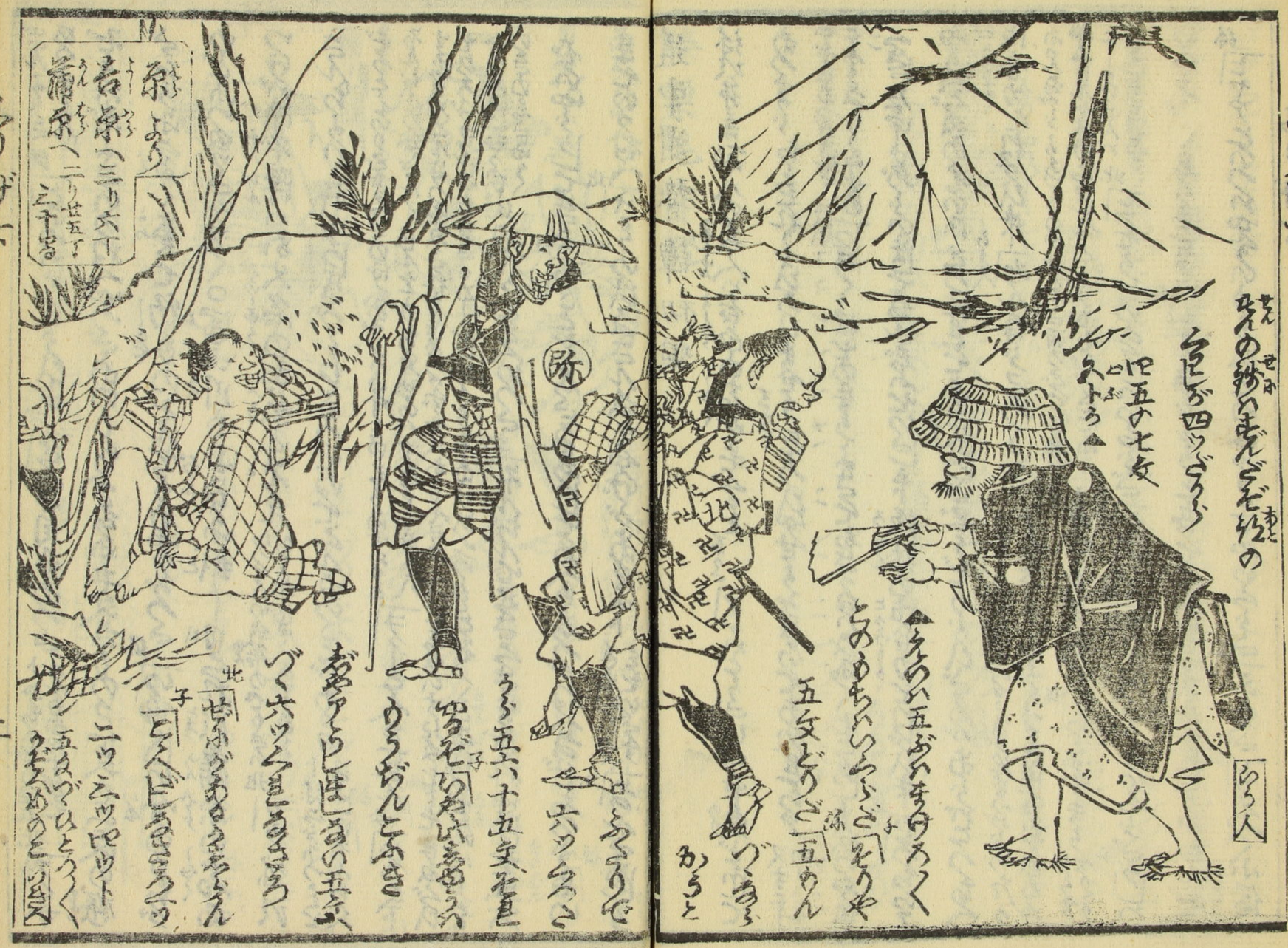
そうは北「そまつにあつらへものこそ」ございます。トきんちやくと北「とまつにあやまつもの」のびござりますまをそうりゆしてもはれ付ぐるこは五百ぐめのびござり
まつすまるひ「イヤそどもせづまござりへのようなこをげどやて北「あるるるへ」
まうごあるるるあるるるけまるしますぐごせのおんのおこさるぐござ
まをまるろぶーつけうぐるあるそこれあいるるでいらるるまるまを「あるて」
あるるるまるは北「あるるるるるるるるるるまるるるるまるるるるるるるるるる

ごげこすりそのむのごうらめうひとろめとろんな「ハイく」北「うつぷ
つまごゴヨキツトよーしく」まろしローゲのむこすりの者こぢのまろつこ由で
ろのまをびきろねくとのうがたふかいてあるをートゲ地をさ巳」てろんな
キツトよーしく（トゥまごこゲをのむ　ゆこふゲろくとのんだ）さラアいろうう紙「ゲくぶ」ひゲ巳」ろふ紙こ
今こひーてそぞたふゲーろどこ盤ふゲーとろまられーあゲとろう
柏原の名物あのぎたてるゆろひふたるをひとろんせ
かゑ巳紀の白人を嗅ゲもうと巳」やこちらあこうい
うるゲぎのこゲび

膝栗毛中終

道中滑稽謹初編

絵「ひ八の表人い吉原のお面をまゲるとゆ」てろのゲどうゲきの紙「ゲ巳」てあひこうゲ巳」ていまもう「とろひ」ゲせうゲきのてあ紙まらア
ゆゲ巳あのぎさゲーろ紙「ニ」ニニニ


えんの秋のまんざぜ紅の
白ぶが四ツざろく
四五の七文
ふとう
えろい五ぶんまけろく
このめちゃいろぶざ「そりや
五文どりざ「五ぶん
づくろ
かうと
ふうりで
六ツくさ
うぶ五六十五文を白
ゆるぜ「ひのあいあるえ
うぶぢんとふき
おまアとしは「ぶの五文
づく六ツくまるさろう
「せかがあるえちえん
「ちくべびるさろう
二ツニツピット
五文づひとうく
ぶざめのこ

ゑん
吉ゑん「三り六十
蒲ゑん「二り廿五文
二十ぢる

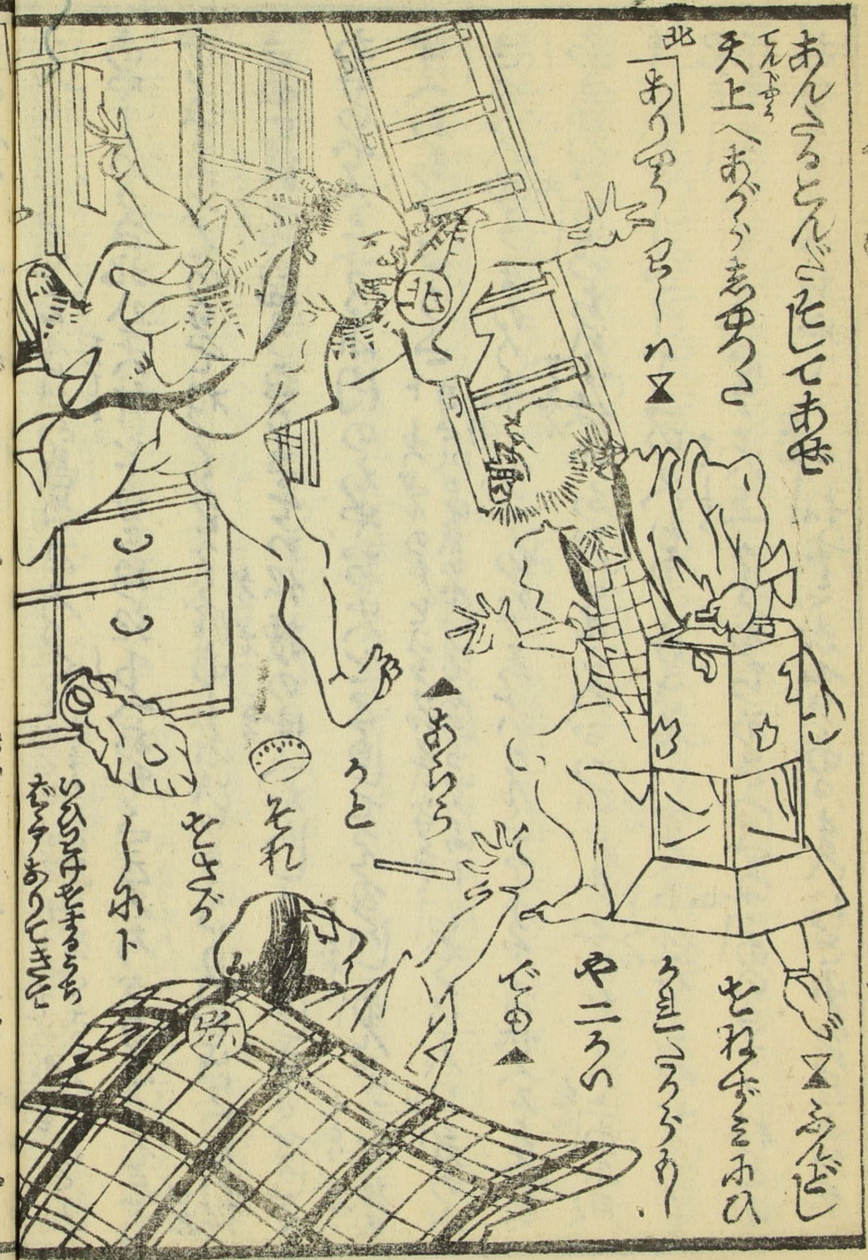
ぜんさうふ紙「とうつい大ぶくろ」北「さんざ国ゆめつこ」トこちらあづり巴五北「ろくろ子
ふくさられ　ぞうりおくさこのわ（ゆうざあのもちぶ五文字めつこ文字こ文字の廃
ごらうふ言るく美て物多のそんをとうあ出ぶろ紙「いあくしい今のもちぶ
のどふつあつこぞりく○富士川由吾ふ紙「ふ」と紙「ふ」と紙「ふ」と紙「ふ」と蒲糸のあ右ふ
つけば陣お陣ハあ大名のお長こ兄こ長こ北「コウ紙「ひ
さんあくこけ言ふ言ぶこと言りこぞねこんあつこぶあるヨ紙「ぶふつこと言ぶ北「れんぢんへ
ぶろこんりぶきろきこのぶ（あぶりくこまこのこふすると「ヨイとこ人も「ぜん紙「ハりくト
そんぢんの女ぶんく世をとち大世のへすあるこきこハ
まるるくこれきろあくられもきころ北八あるふるろこ文字こ文字こ文字こ文字こ文字こ文字
ぜんのこぶこんありくるめーを「ぜんちちもこ
ころあるこむろあの紙「北八ろぶこいろこ北「ろ
のきこのこちゆく紙「ぶこのこと言こ紙「
ぞのゆこ言こ言きこ言「のこと言こ言こ言こ

蒲原一り
北

[illegible]

[illegible]

[illegible]



「いやく さうぢやアごさらうねへ 己」もこりア六十ふうりやがごこの金に
あふオまぐいとあるりつて己ぐひところくちいこをめさろくこ「ヤアくこん
こりアきぶちがやアせねう己ぐもいこ十年もころちイそんなまあやう
あいこりア中絶のこしてゐきよあのあるこくさやアの所へさい己こと
イヤちやうこうでもあい人ぐ 北「ごろんなせこ 孫 次さんねこりア式
あてゐずとあれてこうイヌトゆりあとさぐ 孫「ごろうもこりけくものこいふものい
あとさぐのうんかへぐとこうやせんぐろそきろそんーそこんなせ 六ふる
あいもくちをそうくてやうくこをとさうり北八もやうくらちやいこ己こうく 孫「北八
ぜふをつくひさくりこくこをあぐもあけて二人ハさうくこをこちのそやたすかう
でくぶあさぐの小田ちうでんふうのそこをあくやうべいこういをあこりアぶり
あさぐんで 孫 北条と二百ふんぐてくらをこれちふぐねくそ 北「イヤめんぐく
あでくもねく ちやくもものあのあくくつこと 女「おこりうこいやアせ名物わ振
あうこのちやなりうこりる

ゆらゆオ あつてやアせあつそいのもあさいやアす「アてゆ四い芸さ
よびうる女のこゑハうそそうやさてそそそそいうこゑ四のゑそく
さろくこ藤そとうちこすふにろふ大あめふりのびゑまびゑ浜くうこもけ
田ゑのうう清ゑんが実の風ゑ家もうんこやふうんぬやこうろうく三長ほ
ふいうりきうこゑのげるる家屋ふうちうりあめをあのぐ北「だろアさん
そのきるこをつけうたんとそこうおうんるゑ人「さてく比ぶりを
おめへのうれせうんこいろもあろうゑでめでういこうれふけふいちいさ
ゑとえこうこうろうアあれきくうろうこあひさゑいうじゃうの「コーん
子ごのハあざんゑの「そんゑう孫う「いんね子がゑけうまアきごもハア
あざんゑの「ハこう」あかくのきごでゑけうまアじうこのう孫であう
さ「いんねる士ゑ四アあざんゑのいこうりのうごやの子であさるハ

「ハアさうろコウもの子。ごんうんがあろうあのつこをまこんゑ「うろア
やアざこゑ「ゑせいやご「孫アつけうごだんどやアざ「ゑんのねうア付こうめる
きるこごろア「いんねじしらごこことだやアねうアつけてうりや「ゑこうろ
でざうろく もるとあのうこぺろくちんゑふふやうろコイく「ゑんく

「あんといく「ゑアん「おくをーい
のの さうをうちいそこうろゆくは
あゑゆやをゑまゑ
うんきづいさく
ゑうりのゑゆくあうふさ

○大ぶろふ富士の
振ぶとをおこて
江麗ふ義の
晴あぐやう

由井
沖浪へ
二月
十二

「よんべ」ヤ去のんこでゝヤエ あさんどヤアまごのこ
あせされそねこ。がらいよるべの股ぶすだて法ろふ〜こヤ〜エとの布
袋後ヤまくだりよオときヤアぐるつのでふちらうゆちるべいジャアくく
さ後ぬくるこ「ゆ昨日ヤイゆーぐるアぐゆ昨日町の湯
屋のあまヨあ〜このやらうめがかいのふづるくつるやアがってんでるア強い
きんゆふうも清あ〜四後のうそ後ゆうと後ぐまくろそ府中までそろ
ぬ「らしてこアわちんいとんまちらぐめんでまるうそがらるふムうせ今ゆ
まうまう〜十場のまどふつるいぞあのこふ雪踏の極板すがらくこんま
ちらやアがくこまるこ「あのさろやのかゝアめいまゝうつだいやうよらぐ
あ〜とふゆるまぐルゆうア股の中へまきをゆのぜくくこいまやアぐるこ
そまふあんぐろうアうふ北ぞること字をうそ後ゆくへのそろぐんそうぐ

是のとうろくまこうこそつきやアぐろ
正ゆうアぐくそのてをろふゆうどふさふしヨトウく「あのさろ後ふ北ふ
府中の町ゆつ後そまぐまぐてんまて丁ふやとそろう「そまそあり紙ぐうふ後ぐのうこへぐゆきふ
そゆそろくゆうのさのうくそうの後ぐまぐあそまぐ後ぐのうこへぐゆきふ
ゆてきくあゆぐ〜二十町へまけちんと紙「ろちくアこまろぐ二丁断とやらく
ゆさ八ゆ大ふけうを後〜ゆてゆのちゆ北ゆ紙
けんぐろふのそてくめんぐぐろちのまろぐゆこ「何紙川の方でまろぐ
北に五丁だろうゆあり半ゆんゆうあまでゆやろてあけまゆせろう「こ
ついく「紙ろまりふのろそ女ゆ後ゆここ蓑川の西ぐあ西ろの
く「トそまろ二人ゆちゆふゆのろ二十町ゆくゆ後ゆ名あ蓑川ゆ西ゆ
町ゆろ大門ゆろそまろるそろ〜ゆろそふ入る「北見御のさゆ元新吉原の
あゆろげあれどせゆくくまきこ邑「きゆくゆ後ゆ
後の女ハゆ元ゆまきのこゆゆげこあのこゆちゆ後ゆきこんゆ
ゆうそうそうゆうゆうのうちゆ後ゆうのうのこゆゆあゆ後ゆ
かくゆげこゆこゆのこゆのこゆをこゆすゆげゆをこゆ
ゆこゆこゆ後ゆのこゆゆ後ゆうゆうゆうゆのゆ人ゆゆあゆ
「あんぐ〜とのあんぐゆいゆまゆこゆを

つぎ

ぶるぶるとあぶなかぶつ

かくつ　ぶるぶる「ヤイ

市イあんと」さそろ

へとこふ」ヒやふぶい

あれこ「ふぶりたつい

ぶららきあいまーと

ふんあんるさいトすぐ。▲

▲行のあの女子やの　きをひやらて「あのかべのきにふみる女の

つるい洗るさるの天のかイのやうぶ「あやこう

ていろ〻せいのそろいろ女ご。ろぢいらぶるの

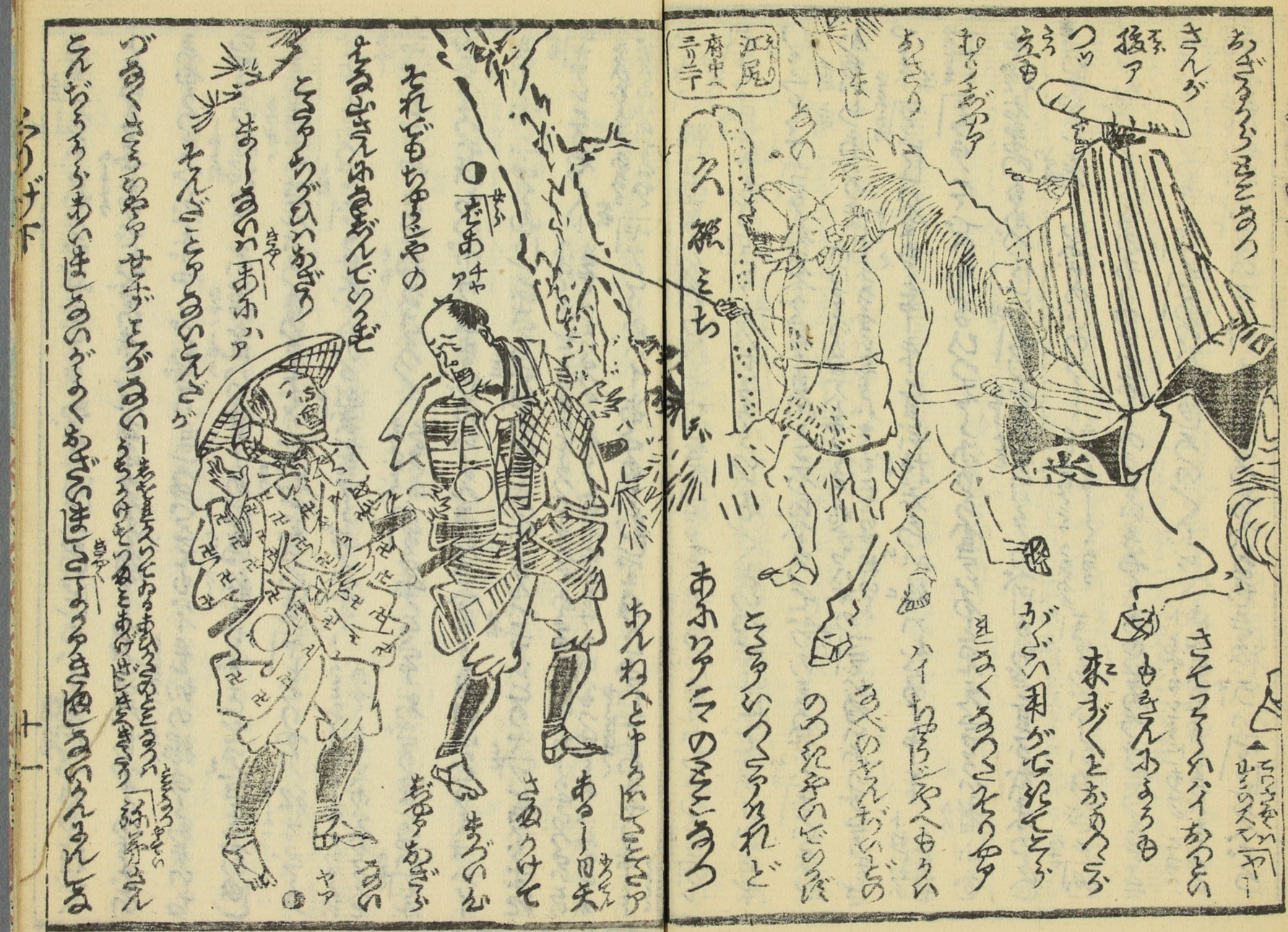
ろこさ〻ッたとうるやうふちんぶれ表つア

あいいこちぶでい　「ふんとぶこぞ人あらうら「偽

きよ〻ーろこい三分とおなと武あぐ

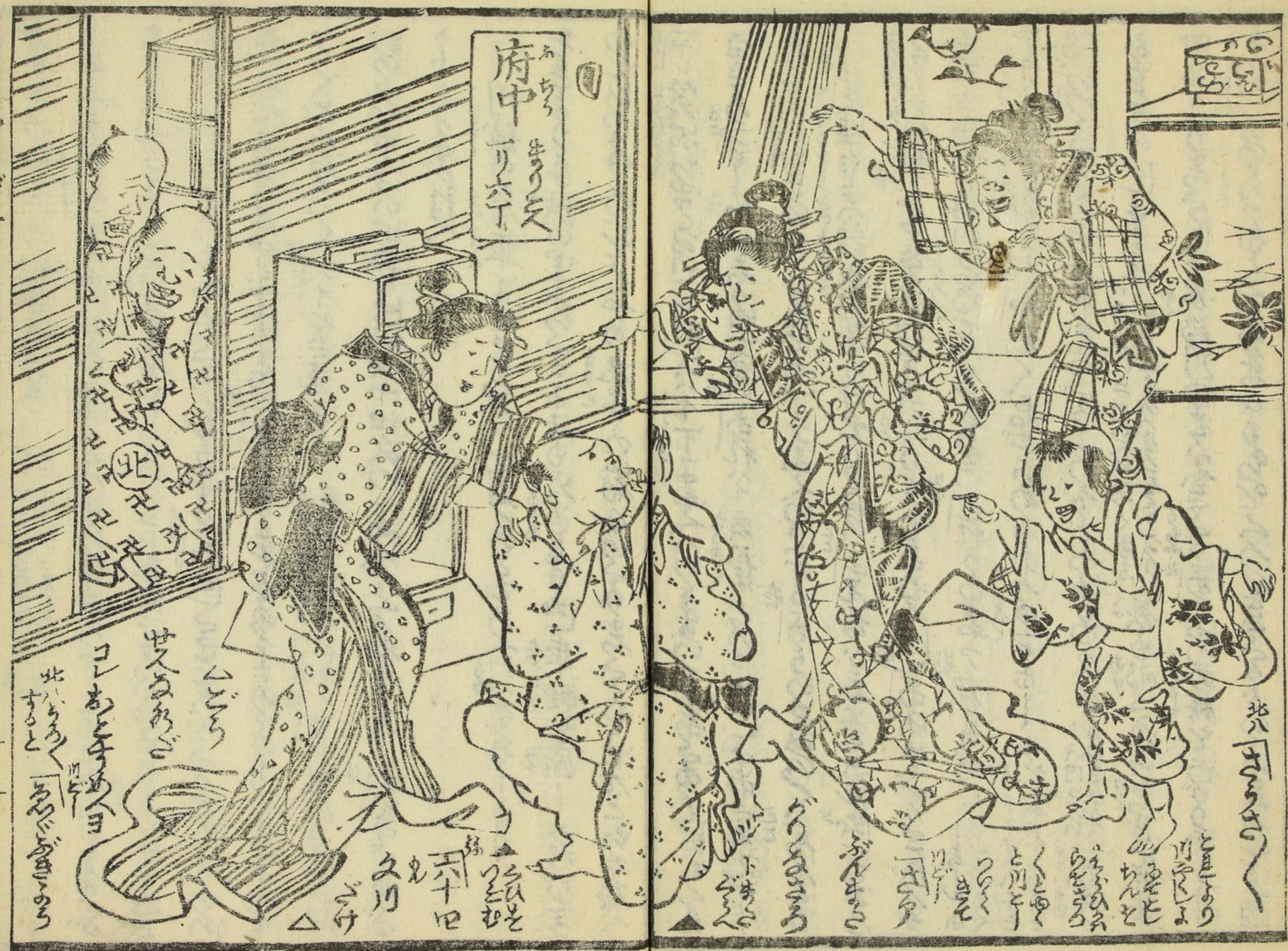
さろサえべのちろふ表やう大ろこ接のんめ

ごらうきの「と」てあるのをかつてぶきをとろうついてあるときぶくしん一人
すぐるのよ〜ときぶ八「さアこれおやせうとつれぶちずつとのまんのうちへさいる
よくあのぶきいまく〜とうろいあのみのへあんまのする二人いそうとそ手をもちうるんす
ときのさ〜ぶくつまのぶろれぶあくろもとそれぶろうろのるふなろもあり手をもりみてあり
ろうい「四」「四」「四」はいぶろいとませうル「ぶ〜ぶ〜ぶ〜

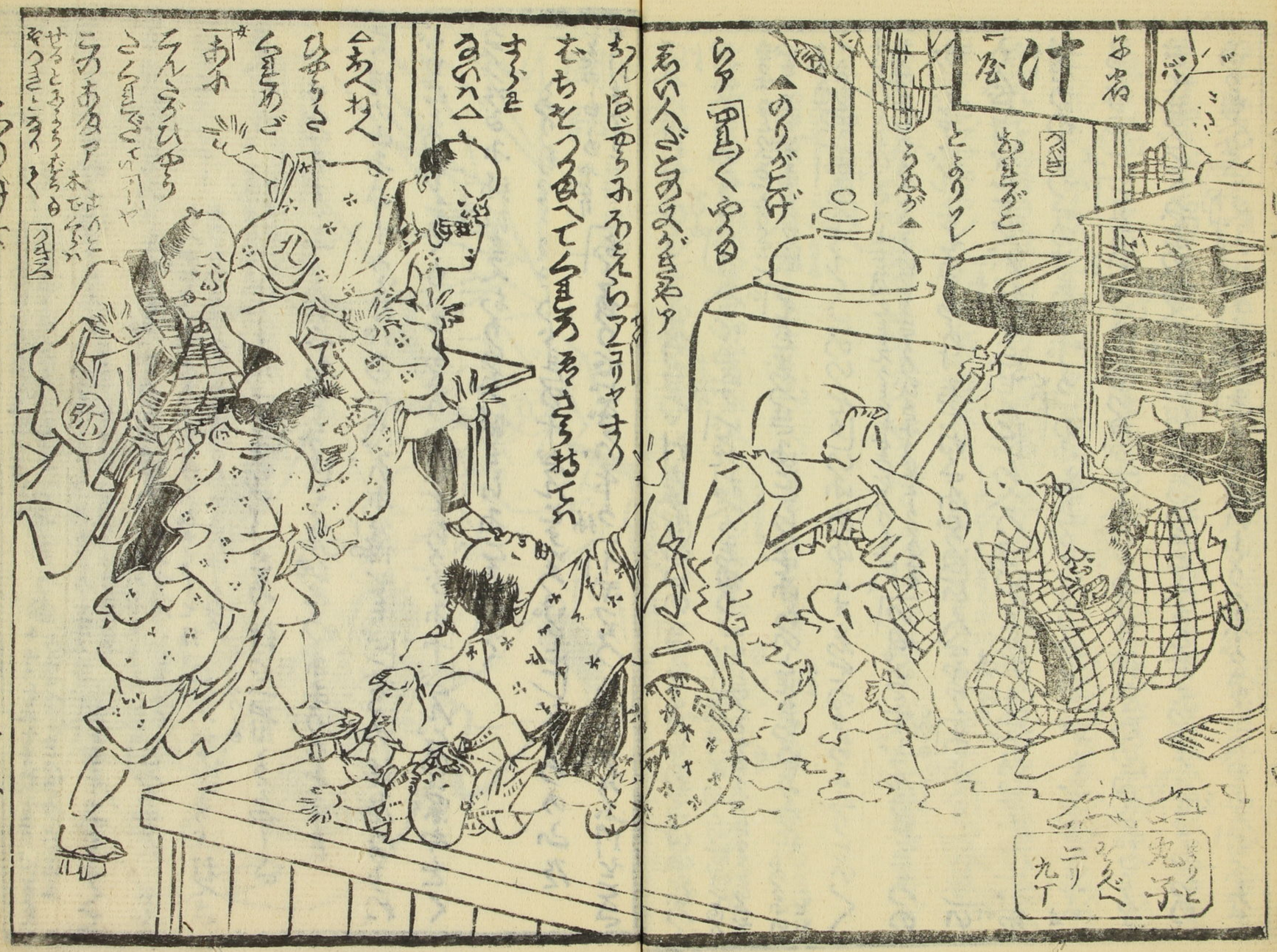

久慈ぢち
あれ〳〵とやうに
ある〳〵四天
さあうけて
まづのむ
ぢあ
ぢあ
ぢあ

さうろ「ゑのもかんゆんせずこそあざうほ」ゑのこと」もハイひ肉でいあれてく
とういまるせ弟であざいキとん弟ふうれを摩ーつぶさえ」ちやアろうぶの
あゆうのまくたくずやうぶあざうほ」ゑのこそも、ハイ色切の猫ゑうくあまのちち
のやうゑ性れのうるいゑ流いんせーめの高れぐせずこそさんさあゑの色」
そまこ反業まさんさろきのうまそうもれるてあざうほ」「ヤレそうやア私オごう
せずとツうて「ごうせずゑめうゑ髪をきういぶせふ愛ヤ」トくまそうもそうてうれ
きぶくうるうあるあもうくも
「ヤアレとうやさそれるさうろく」「まくうずこそア あざうほ」ゑのそん
ぶアうろこいちうぷけゑまげのちゑんされさくきくうゑのいふそうゑオハイ
きうふずこそアゆほ」ゑさうろ「ゑふゆうさずめんで「ヤレとうヤ」ワレきうずに
「ヤアレとうやく」トゆぶぐまをとうまのそうそうゑそあるを色」やちくうぢうのの
きくくまいうそうそうまくまぶ」ゑんもちゑまのもうもうもあもあちてま
ぶくまあうぶふうるぶ「ヤアとうやハイあうゑやくいう」そあ手ヤまホ〜〜〜

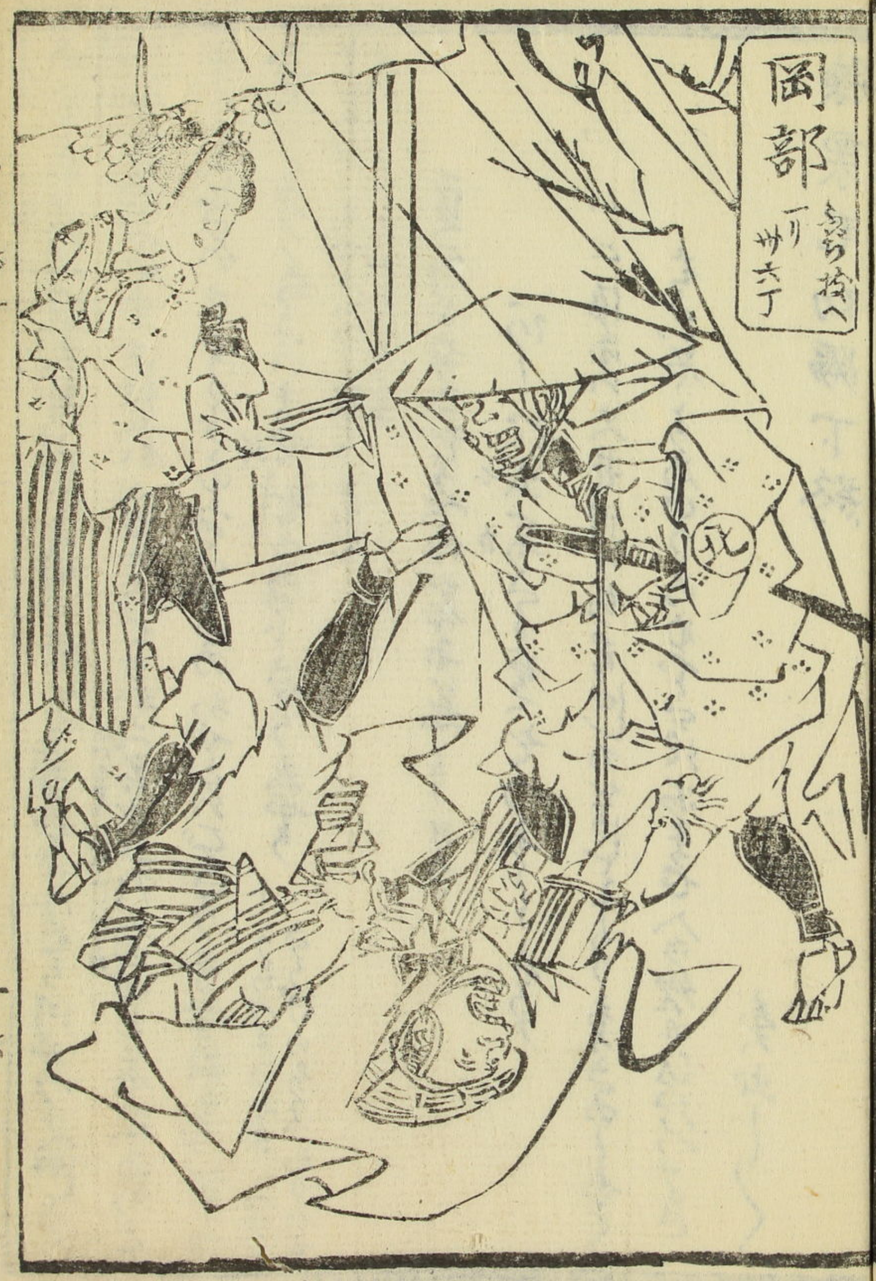
「ヤレ笑ふちやアゑのコレ色」いハイ丁よやくいくまのうくあうゑアど」でうま
ゑまうろ」「ヤーやアちう色ゑの」「あれハイ反業どのうかくこうあうゑアざー
なまうろ」「あまのハイ・ゑまでも丁子やくいうずうろ」「めうらうゑのく」「そんとう
ゆう」「天姫白ゑ大神反さゑうけそううゑの」「まそんゑうゑゑ業さん出」ゑまうろ
うぶぐうくいる」「ヤアまぐちうゑの」「めうゑ」「ゑふまぐうゑびんが
そそうふゆやアゑのうゑるそうまゑまうろ」「これうあるやア」「そまぐく」トあうんふあうまぐ
つまのまいてまぐくそまそまこと丁ゆうつけうあいきうのそ」「やまく」ゑぐいめふあうる」「オふ〜〜〜」
「いづくのうらでもあるゆうぐうろうぢどあゆうろうさ」トけ内うろうのあきうろ」「めうう
あとふいと」まうう」ト北八ゆいさ川のハ分ハゆくゆ方ハまこハまうふきうろ」「寝ゆ明ゆうれがあぎてんま
町ゆうくうまうて安新川のまてうゆきうる」「めいぶつの腰をふぐうやアー
トあび新」「あのうらアゆうべ武業ぶめもて」うてきうろうらくふ高せうろ」図


府中
ゴレハ
ヤ
ヤ
ヤ

ごろうちをうんぬきまきろ　ト二人とくるまのモ
川へぎぶくとまるる　あく　ぶんまいごくめが
まうるまるぐ　まうろうにじがあるくるまへとろ　ぼんまいふ　ぼんまいふ　ぼんまいふ
まるまるまるま



ちゑ
ぢ
ぢ
ぢ



「コノあらうめ」ト

「ソノアラウメ」ト

「ヤレチヤ」

「コノ」

「ソノ」

「イヤ」

ゆゑあらん歟 「大井川いとあり[illegible]」

[illegible]

[illegible]

[illegible]